

# 北海道の印刷

# 2

第825号

2025年2月10日発行

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO



JR留萌本線「北一巳駅」2026年3月末で廃線になる（深川市一巳町）

## CONTENTS

- 3 令和6年度第6回理事会開催される
- 4~6 北海道印刷関連業協議会 令和7年新年交礼会開催される
- 7 令和6年度下期北海道地区印刷協議会のご案内
- 8 第12期・勝ち残り合宿ゼミのご案内
- 9 「page2025」のご案内
- 10 全印工連特別ライセンスプログラム「Adobe Creative Cloud」のご案内



## 北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル

TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] [info@print.or.jp](mailto:info@print.or.jp)



P-00023

この印刷物は、CSRに取り組み印刷会社が製作した印刷物です。

# 令和6年度下期北海道地区印刷協議会の運営方法を決定

## 令和6年度第6回理事会開催

令和6年度第6回理事会が、1月8日午後1時15分から、札幌市中央区の札幌グランドホテルで、理事12人と監事1人が出席して開催され、令和6年度第4四半期事業スケジュール・下期北海道地区印刷協議会の運営方法などを決定した。

**理**事会は、定数報告の後、岸理事長を議長に議事が行われた。

最初に、報告事項として、

- (1)事業実施状況について、10月開催の第5回理事会以降の事業実施状況・活動状況の説明が行われた。
- (2)財務状況について、第3四半期（12月末）の貸借対照表、損益計算書、予決算対比表、賦課金納入状況の説明が行われた。
- (3)令和7年度賦課金決定のための売上高報告調査の実施について、1月20日に調査票を送付し、2月5日を報告期限として調査を行うことが説明され、調査票提出への協力要請が行われた。
- (4)令和6年度組合員台帳提出結果について、組合員85社中84社のからの提出があり提出率98.8%であったことの説明が行われた。

次に、議事に移り、

- (1)令和6年度第4四半期事業スケジュールについて、組織の拡大、広報活動の強化、未来を創る業界運動の展開、共済事業への加入促進、福利厚生事業の実施、組織・財政状況の検討を柱とした、それぞれの実施事業の内容・スケジュール等が説明され、決定された。
- (2)令和6年度下期北海道地区印刷協議会の開催について、右記により開催することが決定された。
- (3)「北海道の印刷」の印刷発注について、令和7年4月号～令和9年3月号までの2年間の「北海道の印



刷」の印刷業務について、印刷方式をこれまでのオフセット印刷から、オフセット印刷とデジタル印刷のどちらでも可能とし、組合員へ公募することが説明され、決定された。

以上で、議事を終了し、各支部の活動状況および各社の近況について情報交換が行われ、第6回理事会を終了した。

### 令和6年度下期北海道地区印刷協議会

日 時	令和7年2月28日（金）
	13:00～13:50 第7回理事会
	14:00～15:00 全体会議
	15:10～16:10 分科会（委員会）
	16:15～17:00 総括会議
	17:10～18:40 情報交流会（懇親会）
会 場	札幌パークホテル

# 印刷産業が北海道経済のエンジンとなり、 人々の暮らしを彩り、幸せを創る

## 北海道印刷関連業協議会令和7年新年交礼会開催

北海道印刷関連業協議会は、令和7年新年交礼会を、1月8日午後5時から札幌市中央区の札幌グランドホテルで、来賓・印刷・関連業者約140人が出席して開催し、賀詞交換を行った。



岸 昌洋氏

**最**初に、岸昌洋北海道印刷関連業協議会会長（北海道印刷工業組合理事長）が、「昨年は元日に発生した能登半島地震、翌日の航空機事故により重たい雰囲気スタートしたが、パリ五輪での道産子選手の躍動や日

本ハムファイターズ出身である大谷選手が大リーグで記録を塗り替える活躍をされるなど、夢や希望が叶えられることを現実にしてくれた話題の多い年でもあった。我々印刷産業を巡る環境は、少子化と急速な高齢化などの社会経済の構造的な課題、エネルギー、原材料価格の高騰、人手不足への対応などが強いられ依然として厳しい状況が続いており、加えて、価格転嫁対策、脱炭素への取り組み、DXや働き方改革の推進などの課題も山積している。こうした社会環境、経済状況を意識しながら、会員企業の繁栄と持続的発展のため、各種事業を積極的かつ強力に推進・展開している。また、昨年も北海道内唯一の印刷情報・技術の発信の場として定着しているHOPE2024を開催し、出展者と来場者がコミュニケーションを図り、各社が新たな価値を見出し、新しい形のビジネスを展開し、発展を続けるための機会を提供することができた。印刷産業は紙媒体の需要減少に伴い市場は縮小傾向にあるが、デジタル印刷技術の普及により短納期・小ロット対応が可能になり、顧客満足度が向上していることは見逃せない。文化と情報コミュニケーションの担い手である印刷産業の果たす役割と責任はさらに重要になり、社会や人々から求められる期待も日増し大きくなっている。私たち印刷業は、北海道内において、札幌市をはじめ各主要都市の製造品出荷額、従業員数で上位を占めている。我々が北海道経済のエンジンとして地域密着ビジネスの強みを活かし、新たな事業領域創造を目指し、世の中をより便利にし、地域に根差し、人々の暮らしを彩り、幸せにする産業としてさらなる発展を期したいと願う新年である。本年は蛇のようにしなやかで柔軟な姿勢を持ち、



困難を乗り越え、成長していく1年になることを願い、関係諸官庁・各機関・団体をはじめ関連業界ならびに組合員・賛助会員の皆さんの一層の理解と支援をお願い申し上げ、新しい年が多くの皆さんにとってより良い実りの多い年となることを祈念する」と主催者を代表して、新年のあいさつを述べた。

つづいて、来賓紹介が行われ、代表して3人から祝辞が述べられた。



渡邊泰弘氏

鈴木洋一郎経済産業省北海道経済産業局長の代理として出席した、渡邊泰弘地域経済部長は、「足元で私たちを取り巻く社会経済環境はさまざまな変化に直面をしている。半導体やデータセンターなど、各地で国内投資が活発化し、これまで30年続いてきたデフレ経済から投資と賃上げが牽引する成長経済へと移行していく潮目でもある。印刷業界においては、コロナ後の社会経済の正常化に伴う業績改善効果が一部で見られるもののペーパーレス化による紙媒体の減少など経営環境は厳しさを増している。多様化、高度化する顧客のニーズに応えるため、変革がこれまで以上に求められてくる。各社がデジタル設備を導入し、生産性向上に取り組まれていることに加えて、HOKKAIDO RRINT EXPOの開催や全日本印刷工業組合連合会主導によ



るデジタルプラットフォーム『DX-PLAT』の展開など業界が一丸となって、デジタル化をはじめとする付加価値向上に動いている。本年は巳年、蛇は再生や変化の象徴でもある。皆さんにとって、今年1年が新しい成長や挑戦の年になることを期待している。当局としても、地域経済の担い手である中小企業の皆さんが収益を拡大し、必要な人材を確保し、必要な賃上げを進めることができるよう各種の施策を総動員して取り組んでいく。皆さんにおかれても、昨年決定した経済対策や補正予算を積極的に活用いただいで、今後の取り組みに役立てていただければと思う。また、本年4月は大阪関西万博の開幕となる。会場には日本や世界から最先端技術が集結する。新たな仕事や地方創生のヒントに繋がる情報収集や体感をする有益な機会でもある。多くの皆さんに直接会場まで足を運んでいただき、北海道の将来について語り合う契機にさせていただければと思う」と述べた。



水口伸生 氏

鈴木直道北海道知事の代理として出席した、水口伸生経済部長は、「道内経済は、物価の高騰による影響が長期化しており、道民の皆さんの生活、事業者の方々

の経営環境に大きな影響を及ぼしている。一方でこうしたなか



いところに産業を集積していくという方向性が出された。北海道に新たな産業がさらに集積していく。そして多くの人々の動きが出てくるということで、可能性がさらに広がってくると感じている。道としても、こうした新しい動きをしっかりと捉え、大きな一歩を踏み出す年に今年はしていきたいと考えている。このように再生可能エネルギーや広大な大地を活用したGX、またAIなどのデジタル関連産業、DXといった新たな関連産業には、人・投資を呼び込んで加速させていきたい。こうした動きというのは新たな産業・企業・人の動きができるので、印刷業界の方々にとっても波及効果を期待していきたいと思うし、行政としても波及効果を出していければと思っている。印刷業の皆さんは日々の技術革新を通じて、さまざまな産業の事業活動を支えるだけでなく、文化の継承や地域における情報発信の推進役として大きな役割を果たされている。長年、培われてきた技術を活かして、今後も本道経済、社会の発展に貢献いただきたいと心から期待申し上げる」と述べた。



坂井智則 氏

秋元克広札幌市長の代理として出席した、坂井智則経済観光局長は、「印刷業界においては、人手不足、今のペーパーレス化に伴う印刷需要の減少、物価の高騰とかなり課題が多くある。これは業界だけで解決できる課題ではない。やはり国と道、札幌市、自治体と一緒にあって行っていかなければならないことだと思っている。我々札幌市もDX化の推進、人手不足に対していろいろな事業を行っている。こういった事業も活用いただければと思うし、そういった事業をしっかりと案内していかなければならないと思っている。今日はこの会の前に経

営者研修会があったということで、当市の部長と係長も参加をさせていただいた。施策を打つためには皆さんの意見をどんどん聞いていかないとならないと思っている。こういった新年交礼会も勿論そうであるが、例えばいろいろな企業を訪問させていただくことや、先ほどのような研修会にもどんどん呼んでいただいて、いろいろな意見をいただいてタイムリーな施策を打っていかねばならないと思っている。昔は3年後も同じことをやっても、なんとかなった時代があったが、今の行政施策は、本当に毎年状況は変わっている。景気状況も変わっているし、DX、半導体、データセンター、GXの話もある。これは直接関係ないように見えるが、それだけ人が動いてお金が動くので、必ず業界にお金が落ちてくる。今、札幌市も、他でもそうであるが、コロナから回復して、インバウンド観光客が非常に多く来ている。町に行くと、いろいろな言葉が飛び交っている。2月4日から雪祭りが始まるので、さらに多くの観光客が来る。そこにはいろいろな需要が生まれてくるので、そういった需要をしっかりと捉える。札幌市もいろいろと予算を取っているが、皆さんの意見を聞いて、本当にタイムリーなものをしっかりと打っていきたいと思っているので、いろいろな意見をいただければと思っている。印刷業界は非常に厳しいという話があったが、蛇年というのは変革と再生の年と言われている。新しい情勢変化に対応していくのは巳年だと思っている。巳年のこの1年、皆さんにとっても業態変革、そして発展に繋がるように、さらに蛇のように末永く発展するように頑張りたいし、我々行政もしっかりそこを支えることができればと思っている」と述べた。



松浦 豊氏

次に、乾杯に移り、高橋秀樹北海道中小企業団体中央会会長の代理として出席した、松浦豊専務理事は、「今年巳年であるので、蛇の脱皮にちなんで、成長変革というものが期待される年である。印刷業界の皆さんにおかれても、

新しい時代に向けて、大きく飛躍されることを期待申し上げます。北海道印刷関連業協議会ならびに構成されている団体の皆さんの発展、本日参会の皆さんの健勝・活躍を祈念する」と述べ、声高らかに乾杯が行われ、新年の宴の幕が開いた。

各方面から寄せられた多数の祝電が披露され、賀詞交換と歓談が行われた。

渡辺辰美北海道印刷関連業協議会副会長（一般社団法人日本グラフィックサービス工業会北海道支



渡辺辰美氏

部長)が登壇し、「皆さん、ようこそ参加いただき、今日を盛り上げていただき本当にありがとうございました。今日の最後に寂しい話であるが、年賀状が3割ダウンということである。私は旭川で印刷業の小さな会社を営んでいるが、1割5分くらい済んだが、来年はやめるという話が出ており、来年はまた3割減るのだろうと思っている。紅白歌合戦はお年玉年賀状とほとんど同時に始まっている。NHKは3割ダウンではなくて、視聴率30%を維持しているという素晴らしいことである。当初の視聴率は現在より高かったので人口比でいうと、大体同じぐらいの人が紅白歌合戦を始めた当時と同じ人数が見ていることになる。これは素晴らしいことである。それなりの工夫があったと思うが、今後NHKもネットとの両輪で行くかもしれないといわれている。私どもの印刷業も、紙だけでなく、印刷とWEBとの両輪で、そっちはそっちこっちはこっちではなく、両方を並べて、そして最後にやっぱり紙だねと言わせたいなと思っている。皆さん今年も頑張ってU字回復で頑張っていきたいと思う。最後の締めは、三本締めでいきたい。三本締めをただ締めるのではなく、1本目、2本目、3本目と、力をどんどん大きくして、大きな声で大きな拍手でこの北海道の業界を盛り上げていきたいと思うので、そういうつもりで力強く手が折れるまで大きな拍手をお願いする」と述べ、三本締めで、令和7年新年交礼会を閉会した。

# 令和6年度下期北海道地区印刷協議会 のご案内

北海道印刷工業組合は、令和6年度下期北海道地区印刷協議会を開催する。

**組** 合員へ事業のより詳細な紹介、濃密な情報の伝達等を目的に、北海道地区印刷協議会で、組合員と双方向の情報交流を行っている。

そのために、組織活性化、経営革新マーケティング、教育研修、サステナビリティ・CSR、青年部の5委員会活動を北海道地区印刷協議会において実施している。

組合員ならびに賛助会員の皆さんには、北海道地区印刷協議会においていずれかの委員会に参加いただき、対面式で活発なディスカッションを行っていただき、企業経営の永続・発展のための情報を共有いただくこととしている。

組合に加入しているメリットは、組合の事業に積極的に参加し、利用することから生まれてくる。

## 記

日 時	令和7年2月28日（金） 14:00～18:40
会 場	札幌パークホテル（札幌市中央区南10条西3丁目 TEL.011-511-3131）
スケジュール	<p>14:00～15:00 <b>全体会議</b></p> <p>①理事長あいさつ 北海道印刷工業組合理事長 岸 昌洋</p> <p>②全印工連あいさつ 全日本印刷工業組合連合会副会長 酒井良輔 氏</p> <p>③全印工連事業概況説明 全日本印刷工業組合連合会専務理事 高橋秀明 氏</p> <p>④全印工連令和7年度事業構想について 全日本印刷工業組合連合会副会長 酒井良輔 氏</p> <p>15:10～16:10 <b>分科会（委員会）</b></p> <p>①組織活性化委員会 ②経営革新マーケティング委員会 ③教育研修委員会 ④サステナビリティ・CSR委員会 ⑤青年部委員会</p> <p>16:15～17:00 <b>総括会議</b></p> <p>①分科会（委員会）協議内容発表 ②理事長総括 ③全印工連感想所見</p> <p>17:10～18:40 <b>情報交流会（懇親会）</b></p>



# 第12期・勝ち残り合宿ゼミのご案内

全日本印刷工業組合連合会経営革新マーケティング委員会が主催

全日本印刷工業組合連合会経営革新マーケティング委員会は、「第12期・勝ち残り合宿ゼミ」を開催する。

今回は、大阪府印刷工業組合が2023年から主催している経営者養成プログラム「印刷経営革新塾」の一部カリキュラムを取り入れ、参加者が最終的に自社の「経営革新計画」を作成することを目指す。

1日目は、(株)CCG HOLDINGS 代表取締役の北田浩之氏による「企業理念・ビジョンの策定」に関する講義と、(株)GIMS 代表取締役の寶積昌彦氏による「実践事例の紹介」を予定している。

さらに、参加者がグループに分かれ、自社の理念や

ビジョンについて議論を深める時間を設ける。

2日目は、自社の業態を大きく変革した(株)ソウブン・ドットコム代表取締役社長であり、経営革新マーケティング委員会の木村委員長による講演を実施する。

また、前日のグループ討論で練り上げた理念やビジョンの発表会を行い、講師陣が評価とフィードバックすることを予定している。

参加者が自社の将来像を具体化し、経営革新への第一歩を踏み出す絶好の機会である。

- 日 時：令和7年2月28日（金）～3月1日（土）
- 場 所：緑風荘（京都市下京区西洞院通り六条上ル金屋町490）
- 対 象：経営者もしくはそれに準じる次世代の経営者候補の方（1社2名まで）
- 参加費：1名様あたり 組合員／38,500円（税込）（テキスト代、宿泊費、懇親会費含む）
- 持参する物：調整中（※申込み後に連絡）
- 募集人数：先着25名  
【申込サイト】<https://forms.gle/PDPSikQN2h6PrU8E9>
- コーディネーター：全日本印刷工業組合連合会 経営革新マーケティング委員会
- 講師：北田浩之氏（株）CCG HOLDINGS 代表取締役  
寶積昌彦氏（株）GIMS 代表取締役
- 基本スケジュール：※申込後に、詳細スケジュールを別途送付。  
（予定） なお、内容は受講者に合わせて一部変更することがある。



QRコードからも  
お申込みいただけます！

1日目	
12:30～13:00	受付（受付開始／13:00） 集合場所：緑風荘
13:00～13:15	開会式
13:15～13:45	自己紹介
13:45～14:00	オリエンテーション
14:00～15:30	基調講演 （講師：北田浩之氏）
15:30～15:45	質疑応答
15:45～16:00	休憩
16:00～17:30	講義「業界トレンド」 （講師：寶積昌彦氏）
17:30～17:45	質疑応答
17:45～18:00	休憩
18:00～19:00	自社理念作成の説明
19:00～21:00	夕食

2日目	
9:00	集合（各自朝食後）
9:00～ 9:15	オリエンテーション
9:15～10:00	講演「自社のケース」 （木村委員長）
10:00～11:40	各自自社理念の発表
11:40～12:15	総括・合宿に参加しての 感想や意見
12:15	終了・解散

# 「page2025」のご案内

公益社団法人日本印刷技術協会は、「page2025」を、「共奏」をテーマに開催する。  
展示会は2月19日から21日まで東京・池袋サンシャインシティ展示ホールで行われ、カンファレンス・セミナーは2月7日から14日までオンラインで行われる。

**今** 回の新たな取り組みとして、一般社団法人日本新聞協会および一般社団法人日本新聞製作技術懇話会（CONPT）が開催してきた「JANPS（新聞製作技術展）」とジョイント開催するほか、工場ソリューションゾーンも設置する。

加えて、小間内での販売も可能となった。

今回の開催で38回目となる「page2025」のテーマ『共奏』は、2023年の『創注』、2024年の『連携』に続く、3年にわたり発信してきた連携により新たなビジネス創造に繋いでいく集大成のテーマとしている。

展示会の規模は、144社・480小間。

『JANPS in page』と、新たに設置する工場ソリュー

ションはBホール内に設けている。

今回は、前年度の実績を踏まえて会場内セミナーの内容を充実させ、出展者を中心としたプレゼンテーションを実施する。

基調講演は、第1日目の19日午後1時から会場内でセミナーをリアル開催で行う。

page展内では初めての開催となるJANPSでは、「新しい時代に向けたDX制作技術から総合技術へ」をテーマに掲げている。

これまでのJANPSに続く開催という位置づけではなく、「再出発の第1回目」という捉え方で開催するとしており、18社（35小間）が出展する。

## page2025概要

### ▽展示会

日 時	2月19日(水)～21日(金) 10:00～17:00
会 場	池袋サンシャインシティ展示ホール（東京都豊島区東池袋3-1）
入 場 料	事前登録で無料（当日1,000円/人）

### ▽基調講演

日 時	2月19日(水) 13:00～14:30
会 場	池袋サンシャインシティ4F展示ホール特設会場
テ ー マ	印刷ビジネスの近未来「完結編」
パネリスト	網野勝彦 氏（株式会社研文社）
	山本久喜 氏（東洋美術印刷株式会社）
	本間 充 氏（マーケティングサイエンスラボ）
モデレーター	郡司秀明 氏（公益社団法人日本印刷技術協会）
参 加 費	無料

### ▽カンファレンス・セミナー

日 程	2月7日(金)～14日(金)まで/オンライン配信
-----	--------------------------

詳細は、ホームページを参照ください。 <https://page.jagat.or.jp/index.html>

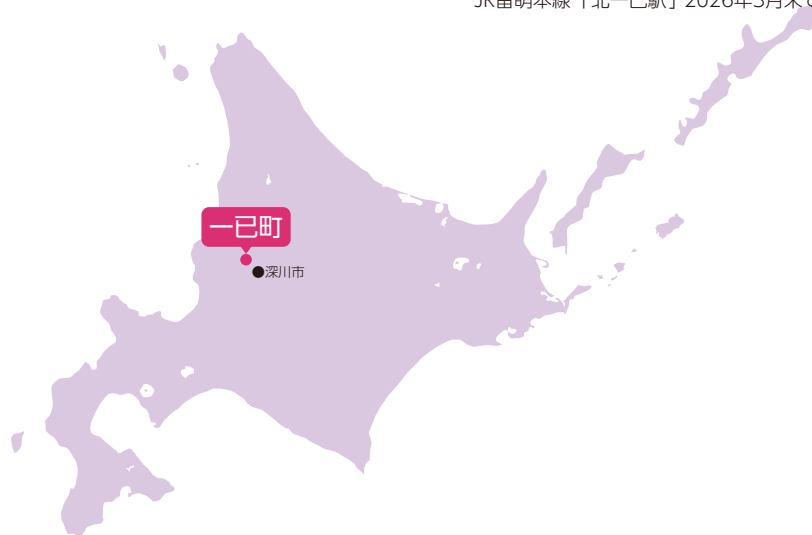








JR留萌本線「北一已駅」2026年3月末で廃線になる（深川市一已町）



表紙の解説
<b>一已（いちやん）</b>
由来は、イチャン。「鮭の産卵場」の意。
参考資料：北海道「アイヌ語地名リスト」 <a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ass/new_timeilist.html">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ass/new_timeilist.html</a>

難読レベル	
☆☆☆☆☆	道外の方でも読める
★★★★☆	道民のほとんどが読める
★★★☆☆	道民の半分くらいが読める
★★★★☆	道民でもほとんど読めない
★★★★★	地域住民以外は読めない

※難読レベルは北海道印刷工業組合独自の基準です。